

# 平成21年版労働経済の分析(ポイント)

## 分析テーマ:賃金、物価、雇用の動向と勤労者生活

賃金、物価、雇用の指標から勤労者生活を総合的に分析。  
「雇用の安定を基盤とした安心できる勤労者生活」の実現に向け取り組むべき課題を提示。

- 雇用の安定の確保と経済の底支え
- 職業能力の向上に支えられたすそ野の広い所得の拡大
- 産業・雇用構造の高度化と雇用創出

## 第1章 労働経済の推移と特徴

### 大きな経済収縮と悪化する雇用情勢について分析

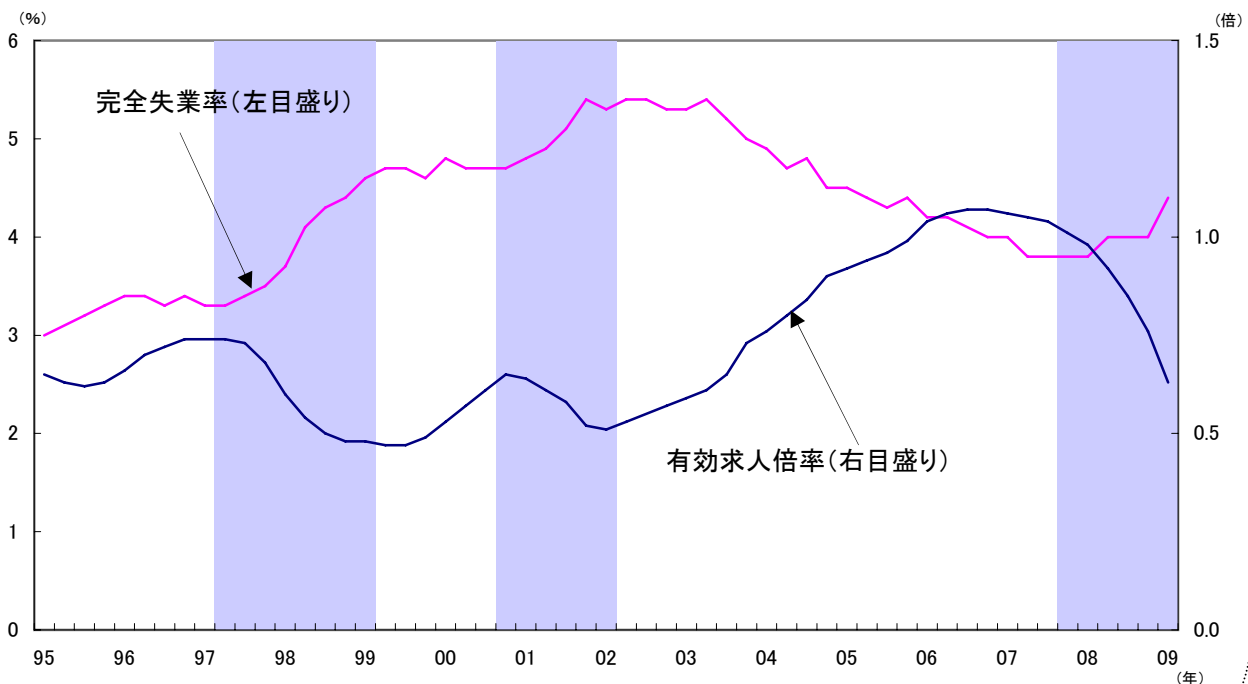
雇用情勢は急速に悪化し、厳しさを増している。2008年秋以降、有効求人倍率は大幅に低下し、完全失業率は上昇。特別給与の減少などにより賃金は2007年から減少。物価は2007年後半から上昇率が高まり、実質所得と消費を減少させ、景気後退の一因に。

#### 今回の後退過程の特徴

所得・消費の伸びに力強さを欠く景気拡大のもとで、輸入価格の上昇が企業収益を圧迫。物価も上昇し実質賃金は低下。長期にわたった景気回復も2007年秋には後退過程へ。さらに、2008年秋以降の外需の落ち込みは大きな経済収縮に直結。

### 雇用情勢の推移

- 我が国経済は2007年秋以降、景気後退過程に入り、2008年秋以降、外需の落ち込みで大きな経済収縮に直面。
- 雇用情勢は急速に悪化し、厳しさを増している。



資料出所 厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省統計局「労働力調査」

(注) 1) データは四半期平均値(季節調整値)。また、グラフのシャドー部分は景気後退期。

2) 有効求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイムを含む。

## 第2章 賃金、物価の動向と勤労者生活

### 消費支出を中心とした内需の動きを賃金、物価をもとに分析

1990年代末より国内需要の低迷から賃金も物価も低下する状況が続いたが、2000年代半ばより、賃金、物価は緩やかに上昇へ。ただし、物価の上昇は輸入物価の上昇などコストアップによるもので生活必需品の価格上昇は低所得層への影響が大きく、消費需要は低迷。

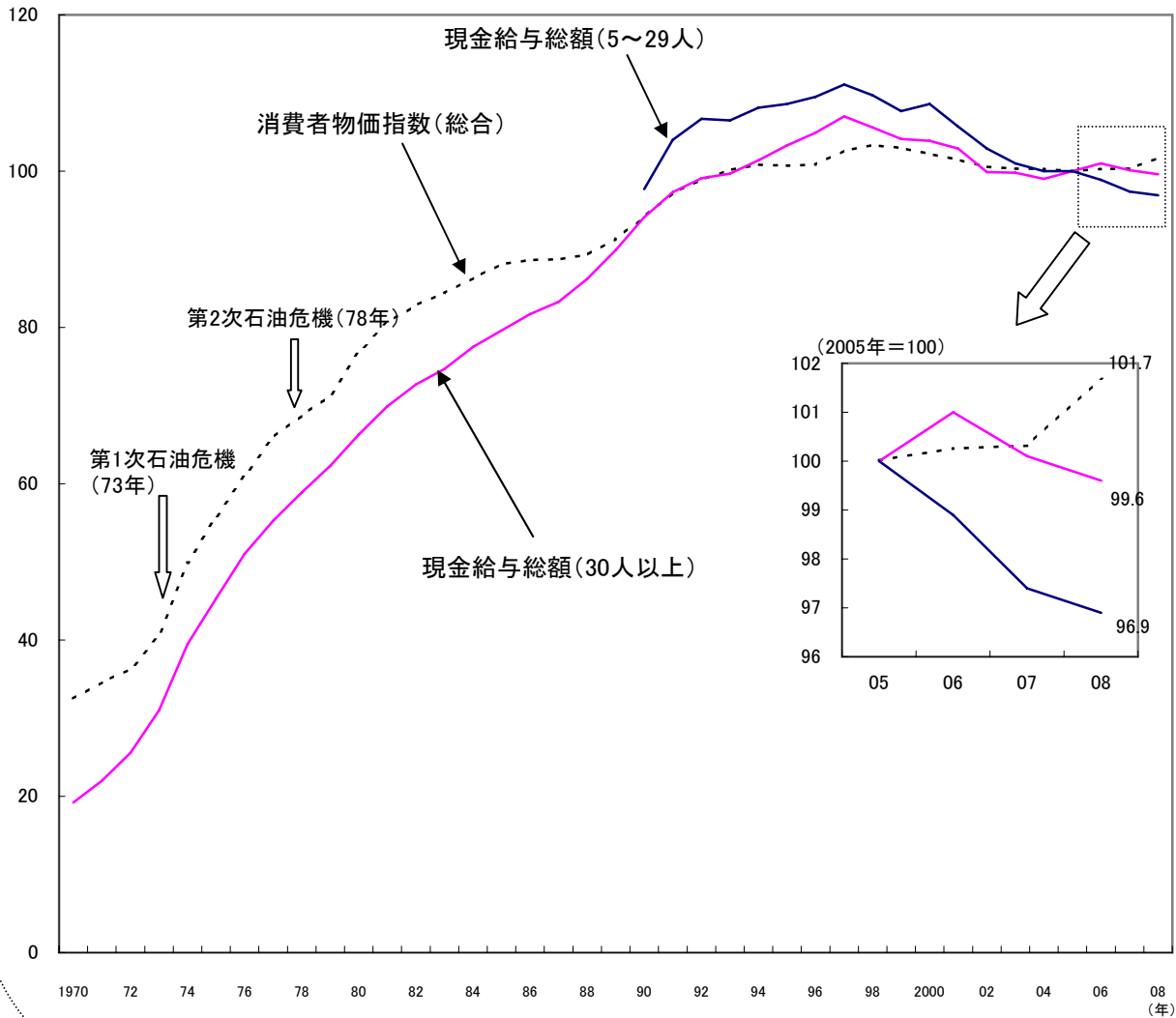
すそ野の広い消費拡大に向けて

内需の着実な改善に向け、すそ野の広い所得と消費の拡大が課題。非正規労働者を活用し賃金を抑制する動きに対しては、正規雇用化など長期雇用システムの拡張を通じて、より多くの人々に支えられた生産性の向上と所得の向上が重要。

### 賃金と物価の長期的な推移

- 我が国経済は旺盛なマクロの需要拡大に牽引され、長期にわたって物価と賃金は上昇。
- バブル崩壊以降は、総需要は停滞し、1990年代末から物価の継続的低下。企業は賃金抑制傾向を強め、消費と国内需要の減少へとつながり、物価、賃金の相互連関的低下に。
- 物価は2006年から上昇に転じたが、小規模事業所は物価上昇傾向の中でも賃金を引き上げることはできず、2008年には物価の高まりがさらに追い打ちをかけた。

(2005年=100)



資料出所 総務省統計局「消費者物価指数」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
(注)現金給与総額については、調査産業計。

### 第3章 雇用の動向と勤労者生活

#### 雇用の安定と人材育成のための雇用システムについて分析

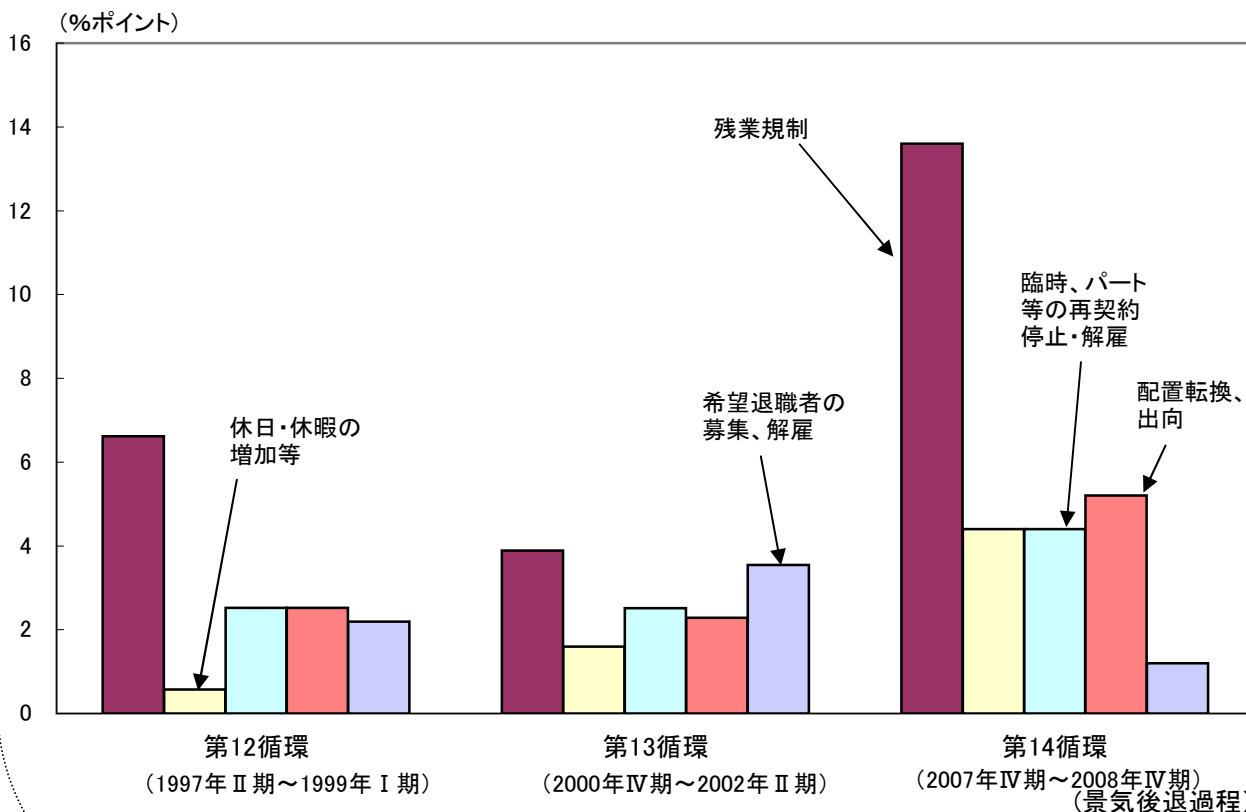
2008年秋以降、外需関連の生産は急速に落ち込み雇用調整が増加。正規労働者の雇用維持努力はみられるが、非正規労働者の再契約停止、解雇は急速に増加。不安定な就業のもとにある若年層を中心に大きな影響。

雇用の安定  
と新たな成  
長に向けて

非正規労働者も含めた雇用の維持に向けた企業の取組を支援し、長期雇用システムの雇用安定機能と人材育成機能を活かすとともに、将来の成長分野で質の高い雇いを創出し、高い生産力と内需の拡大を生み出していくことが重要。

#### 雇用調整実施方法の上昇ポイント

- 雇用調整の実施方法について景気後退過程ごとにその上昇ポイント（年率換算）をタイムトレンド関数を用いて推計すると、第14循環においては、残業規制の上昇ポイントが特に大きい。
- 一方、今まで景気後退過程における上昇ポイントが大きくなかった臨時、パート等の再契約停止・解雇が大きく増加。これに対し、希望退職者の募集・解雇の上昇ポイントは相対的に小さい。
- 雇用の削減を伴う雇用調整は、正規労働者で抑制されているものの、非正規労働者においては集中的に表れており、非正規労働者も含めた雇用維持の取組が期待される。



資料出所 厚生労働省「労働経済動向調査」により厚生労働省労働政策担当参事官室にて推計

(注) 標記の景気循環の景気後退過程それぞれにおいて、各雇用調整実施方法の上昇ポイント(年率換算)をタイムトレンド関数を用いて推計したもの。

